

地域ケア推進会議 報告書

【医療・介護連携に関する場合のみ】

提出日	2022年10月3日
作成 高齢者支援センター	町田3
作成者	田中 一恵

1.開催日時	2022年 9月26日	月	19:00	～	20:30	
2.会場	オンライン					
3.主催センター	町田1	・	町田2	・	町田3	
4.参加人数	26名					
5.参加者内訳	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者支援センター	10人	<input checked="" type="checkbox"/> 医療と介護の連携支援センター	1人		
	<input checked="" type="checkbox"/> 医療関係者	9人	(うち、医師 1人)	<input checked="" type="checkbox"/> 介護事業者	2人	
	<input type="checkbox"/> 民生委員	人	<input type="checkbox"/> 老人会	人	<input type="checkbox"/> 住民	人
	<input type="checkbox"/> 町内会自治会	人	<input type="checkbox"/> 警察	人	<input checked="" type="checkbox"/> 行政	4人
	<input type="checkbox"/> その他	()				
6.開催テーマ	今取り組むべきフレイル予防について考える「身近な人にフレイルを伝えていこう」					
7.地域課題	<p>(1) 課題設定の背景</p> <p>新型コロナウイルス感染症の長期流行に起因する外出自粛とその長期化、また、感染症への心配・不安による地域活動の縮小等により、フレイル進行が懸念される。社会活動が回復しつつある今、フレイル予防の啓発を強化する必要がある</p> <p>(2) 検討した地域課題</p> <p>2020年2月～新型コロナウイルス感染症流行に伴い、引きこもりがちな生活・社会活動の縮小・地域交流の場の消失し、高齢者のフレイル進行が懸念される状況が続いている。コロナ感染以前からあった課題だが、感染流行を経てより、その重要性が高まっている。感染対策を行いつつ、高齢者自らがフレイル予防に取り組める地域作りが必要である。</p>					
8.会議の内容	<p>2022年7月の会議で集約された下記の2点を中心に検討する。</p> <p>①町田圏域版のフレイルチェックフロー図の原案について。 ※事前に、国立長寿医療研究センター在宅活動ガイド2020短縮版のフローチャート(HEPOP)に基づいた原案を提案し内容について検討する。</p> <p>②フレイルリスクに気づいた専門職が、直に働きかけができるようになることを習得目標としスケジュール確認を行う。 ※2月拡大会議開催を提案を行い、日程を決定する。 ※各専門職がフレイルリスク該当者に対して、フレイル予防の取組の大切さを伝え、具体的な取組について提案できるよう①のフローチャートを活用する。介護保険申請前に社会資源の活用を検討出来るよう、社会資源について情報提供できる方法を検討する。</p>					
9.課題に対する対応策・今後の地域での展開	<p>1.身近な人に伝える手段について ※「身近な人に伝える」の定義の目線合わせを行った。「専門職にとって身近な人、業務で接する高齢者に専門職がフローを見ながら説明をおこないフレイル予防に働きかけること」と確認。 ※町田圏域版フレイルチェックフロー原案について、QRコードを活用し、掲載位置、内容の提案を行い検討した。(圏域で特化した取組、フレイルの説明や口腔フレイル栄養指導等は各専門の先生に記事を依頼予定とする。)</p> <p>2. 拡大地域ケア推進会議の開催日程と内容について ※2023年2月17日(木)19時～ ZOOM開催とする。 ※年内中に事前アンケートと開催案内を発送。事前アンケートにてフレイル予防の取組を調査し、有効な取組を検討する。 ※町田市のフレイル予防の取組説明。 ※フレイル概論・三領域(運動・栄養・社会参加)について講師を依頼する。</p>					